

市政記者クラブ 様

名古屋市美術館 担当：井口、魚住

電話：212-0003

美術館特別展「空想旅行案内人 ジャン＝ミッシェル・フォロン」の開催について

このたび、みだしの特別展を下記のとおり開催しますので、ぜひご周知いただきますようお願いいたします。

記

1 概要

20 世紀後半のベルギーを代表するアーティストのひとり、ジャン＝ミッシェル・フォロン (1934-2005) の、ドローイングや水彩画、版画、ポスター、立体作品など約 230 点を紹介する、日本では 30 年ぶりの大回顧展。フォロンの名刺「AGENCE DE VOYAGES IMAGINAIRES (空想旅行エージェンシー)」をきっかけに、空想旅行をするような気分で作品をめぐりながら、フォロンが残したやさしく、そして厳しいメッセージを見つめ直す。

2 会期

令和 7 年 1 月 11 日(土)～3 月 23 日(日) (62 日間)

3 主催

名古屋市教育委員会・名古屋市美術館、中日新聞社、東海テレビ放送、フォロン財団 (ベルギー)

4 観覧料

一般 1,800 円 (1,600 円)、高大生 1,000 円 (800 円)、中学生以下無料
() 内は前売または 20 名以上の団体料金

5 本展の特長・見どころ

フォロン没後 20 年、日本では 30 年ぶりの大回顧展 フォロン没後 20 年、そして彼が生前に設立したフォロン財団 25 周年にあたる 2025 年、フォロンの作品の魅力を見つめ直す、日本では 30 年ぶりの大回顧展です。

線のユーモア ベルギーからパリに渡ったフォロンは、毎日ドローイング描いていたといひます。軽やかな線によって生み出されるユーモアたっぷりのイメージは、ありふれた日常に新しい気づきをもたらしてくれるでしょう。

色彩の魅力 フォロン作品の大きな魅力は、その美しい色彩にあります。グラデーションやにじみなどを巧みに使い、詩情あふれる美しい世界が生み出されます。

現代に響くメッセージ 作品の中に入っていくと幻想的な世界。しかし細部をよく見てみると、現実に対する厳しい告発が潜んでいます。没後 20 年が経った今でも、フォロンの残したメッセージは、力強さを失うことなく私たちに訴えかけてきます。

関連イベント多数 開幕日にはフォロン財団理事長による記念講演会を開催、そのほか、子ども向けワークショップやトークフリーデーなどのイベントを実施予定。